

4. 教育福祉学科 専門教育科目 体系図

科目群の学習目標・到達目標	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
■教育福祉の概念及び教職の意義等について理解する 教育福祉学科の教育課程編成の基本方針とともに、学校教育の重要性、教職の意義と責務及び職務内容について理解を深め、教育に対する情熱や使命感、及び福祉マインドを持った教育者としての自らの目指す方向性を明確にします。 ・教育福祉とは何かについての考察を通して、現代社会において教育・福祉の果たす役割の重要性を認識し、福祉マインドを持った教育者としての自らの目指す方向性を理解します。 ・教職の意義と責務、職務内容及びチーム学校への対応について理解するとともに、教職に対する自分の適性を判断し、教育に対する情熱や使命感を高めます。	教育福祉総論②							
	教職概論②							
■教育の基礎理論について理解する 教育学、心理学など教育に関する基礎的な理論を学び知識を習得するとともに、法令や教育行政など学校教育を支える基盤となる諸制度に関する基本的な知識を身に付けます。 ・教育福祉学の基盤を構成する教育学、心理学についての基礎的な知識を理解します。 ・教育の本質や理念、教育の目的、教育実践の歴史や思想等についての理解を深め、これからの教育のあり方や教育課題解決に対する自分の考えを述べるができるようになります。 ・学校教育に関する法令の基本的な内容とともに、学校を中心とした教育制度と学校経営に関する事項について理解します。 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について理解します。	教育学概論②	教育原理②						教育行政学②
		日本国憲法②						
	心理学概論②	教育心理学②			子ども家庭支援の心理学②			
		発達心理学②						
■教育課程及び指導法について理解する 各学校種における教育課程の意義や編成方法を理解するとともに、学習指導要領や教育要領など教科指導の基盤となる基本的な知識や指導方法（情報機器及び教材の活用を含む。）を理解して、教育活動をする上で必要となる指導力を身に付けます。 ・今日的課題である学力向上や体力向上などを踏まえ、教育課程の意義及び編成の方法について理解するとともに、カリキュラムマネジメントの意義や重要性を理解します。 ・板書、話し方、表情等、授業を行う上での基本的な表現力を身に付けます。 ・計画－実行－評価－改善の繰り返しによって自己の授業力が向上することを理解し、その方法を実践的に身に付けます。 ・保育の5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）における内容を、幼稚園や保育所での実際の保育場面と関連づけながら総合的に理解し、指導計画を作成する力や実践的指導力を身に付けます。 ・小学校各教科の目標、学習内容、指導法、指導案づくりなどについて理解を深め、模擬授業等を通して各教科の特性を生かした指導計画を作成する力や実践的指導力、教材活用能力を身に付けます。 ・保健体育科の目標、学習内容、指導法などについて理解を深め、教科の特性を生かした指導計画を作成する力や実践的指導力を身に付けます。 ・体験を生かした道徳の授業づくりや道徳的实践力の育成等について理解し、幼児、児童が自らの生き方について考えを深める道徳の指導計画を作成する力や実践的指導力を身に付けます。 ・総合的な学習の時間の意義と原理及び指導計画作成や指導・評価の考え方を理解し、実践的指導力を身に付けます。 ・望ましい集団活動や体験活動、コミュニケーションスキルを高める指導等について理解を深め、特別活動の特性に応じた適切な指導計画を作成する力や実践的指導力を身に付けます。 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解するとともに、教育課程や支援の方法を理解します。			保育内容総論①	保育内容（環境）②	保育内容（健康）②			
			保育内容（人間関係）②	保育内容（言葉）②				
				保育内容（音楽表現）②				
				保育内容（造形表現）②				
				初等国語科教育法②	初等図画工作科教育法②	初等社会科教育法②		初等家庭科教育法②
				初等算数科教育法②	初等音楽科教育法②	初等理科教育法②		初等英語科教育法②
				初等生活科教育法②	初等体育科教育法②			
					保健体育科教育法Ⅰ④	保健体育科教育法Ⅱ④		
				道徳の指導法②				
				総合的な学習の時間と特別活動の指導法②				
	特別支援教育の理解と方法①							

※表中の数字は単位数を表し、□②は必修科目、□②は選択科目です。

■**生徒指導、教育相談及び進路指導について理解する**
幼児・児童・生徒理解に関する基礎的な知識や方法を学ぶとともに、発達段階に応じた生徒指導や教育相談等のあり方や指導方法を身に付けます。
・豊かな人間関係づくり、家庭や地域社会との連携などについて理解を深め、幼児・児童・生徒の人格の偏りのない発達を促すような実践的指導力を身に付けます。
・子ども理解や保護者との信頼関係に欠かせないカウンセリング・マインド、コミュニケーション・スキル等について理解を深め、教育相談の理論や技法を身に付けます。
・勤労観の育成やキャリア教育等について理解を深め、適切な指導や助言に必要な進路指導の理論や技法を身に付けます。

■**教育の理論を実践に応用する**
教育現場での各種実習を通して、教職に必要な基礎的な知識・技能を確認するとともに、教育現場の課題や教育者としての自己の能力や適性について問題点や改善点を考察するなど、教育者としての実践的な能力を身に付けます。
・教育現場の体験を通して子どもとかわかり、教師に求められる資質・能力について自覚するとともに、学校教育が抱えている現実の諸課題への認識を深めます。
・教職の基本となる知識・技能をもとに、多様に変化する教育現場に対処する能力を養い、教員としての力量を常に高めていこうとする姿勢の大切さを自覚します。
・幼児教育実習、初等教育実習、中等教育実習を通して、様々な教育課題を抱える教育現場の実際に触れ、教育職への認識と自己理解を深め、実践的指導力を身に付けます。
・養護実習を通して、学校における保健教育や保健管理等の学校保健活動の実際に触れ、養護教諭の果たすべき役割を把握するとともに、総合的な学校保健活動を展開できる知識や技能を身に付けます。
・特別支援教育実習を通して、障害のある児童、生徒の教育現場の実際に触れ、障害の状態や教育的ニーズを踏まえた実践的指導力を身に付けます。
・保育実習を通して、保育士の業務内容や職業倫理への理解を深め、保育士として必要な知識・技能や実践的指導力を身に付けます。

■**教科の内容について理解する**
小学校の教育課程で取り扱われる各教科について、それぞれが持つ特性と内容の理解を深めるとともに、各教科の特異性と教育的な意義を加味した効果的な教科指導ができる力を身に付けます。
・小学校各教科について、学習指導要領の趣旨を理解するとともに、教科毎の目標と内容及びその果たすべき役割について理解を深め、各教科に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けます。
・「国語」では、話す、聞く、書く、読むの活動に関する表現力、理解力、思考力、想像力及び言語感覚を身に付けます。
・「社会」では、地域社会や我が国の国土と歴史に対する理解を深めるとともに、観察や調査・見学などの体験的な活動や、それに基づく表現活動の進め方を身に付けます。
・「算数」では「数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用」の5領域についての理解を深め、数学的な概念を身に付けます。
・「理科」では、物理、化学、生物、地学に関する理解を深め、科学的な見方、考え方を身に付けます。
・「生活」では、児童の発達段階を考慮して、生活の中の具体的な活動や体験を授業内容として構想する力を身に付けます。
・「音楽」では、歌唱・器楽・創作などの表現活動及び鑑賞の活動を通して、音楽に対する感

1年		2年		3年		4年	
前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
				教育相談の理論と方法②		幼児理解の理論と方法③	
		生徒・進路指導の理論と方法②					
		生徒指導の理論と方法②					
教職体験研究①					幼児教育実習事前事後指導①	幼児教育実習④	保育・教職実践演習(幼・小)②
					初等教育実習事前事後指導①	初等教育実習④	
					中等教育実習事前事後指導①	中等教育実習Ⅰ②	教職実践演習(中・高)②
						中等教育実習Ⅱ②	
							特別支援教育実習③
					養護実習事前事後指導①		養護実習Ⅰ②
							養護実習Ⅱ②
							教職実践演習(養護教諭)②
				保育実習指導Ⅰ②	保育実習Ⅰ④		
					保育実習指導Ⅱ①	保育実習Ⅱ②	
				フィールドスタディⅠ①		フィールドスタディⅡ①	
	生活②	国語②	算数②			英語②	
	体育②	社会②				家庭②	
		理科②					
		音楽②					
		図画工作②					

※表中の数字は単位数を表し、□②は必修科目、□②は選択科目です。

[illegible]

	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
■特別支援教育の基礎理論について理解する 特別支援教育の理念とは何か、また、特別支援教育の基本的な考え方がどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの特別支援教育及び特別支援学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解します。 現代の特別支援学校の教育に関する社会的、制度的又は経営的事項のいずれかについて、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解します。			特別支援教育概論②					
■知的障害、肢体不自由、病弱（身体虚弱を含む）のある幼児、児童及び生徒の心理、生理及び病理について専門的に理解する 心身に障害のある幼児、児童及び生徒、特に、知的障害、肢体不自由、病弱（身体虚弱を含む）のある子どもの心理、生理及び病理について、その特徴やそれらの相互作用、発達の特徴を理解するとともに、家庭や関係機関との連携について専門的に理解します。				知的障害者の心理・生理・病理② 肢体不自由者の心理・生理・病理② 病弱者の心理・生理・病理②				
■知的障害、肢体不自由、病弱（身体虚弱を含む）に障害のある幼児、児童及び生徒の教育課程及び指導法について専門的に理解する 特別支援学校教育要領・学習指導要領を基準として特別支援学校（知的障害・肢体不自由・病弱）において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、カリキュラム・マネジメントについて専門的に理解します。 知的障害・肢体不自由・病弱（身体虚弱を含む）の幼児、児童又は生徒の病気や障害の状態、特性及び心身の発達の段階等を踏まえた各教科等（「自立活動」を除く。＊）の指導における配慮事項について理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を専門的に身に付けます。						知的障害者教育論② 肢体不自由者教育論② 病弱者教育論②	知的障害者指導論② 肢体不自由者指導論② 病弱者指導論②	
■視覚・聴覚障害、重複障害、発達障害のある幼児、児童及び生徒の心理・生理・病理、教育課程及び指導法について包括的に理解する 特別支援学校教育要領・学習指導要領を基準として特別支援学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、カリキュラム・マネジメントについて理解します。 視覚・聴覚障害、重複障害、発達障害のある幼児、児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を踏まえた各教科等（「自立活動」を除く。＊）の指導における配慮事項について理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けます。					視覚・聴覚障害者教育総論②	重複障害者教育総論②		発達障害者教育総論②
■健康運動の理論と方法について理解する 健康運動の理念に基づく実践と指導について、生涯スポーツに関わっていくための基礎的な知識の理解を深めるとともに、各年齢層に応じた健康運動実践指導をするための能力を身に付けます。 ・スポーツがもたらす人間への影響力を理解し、各運動種目の基本的な技術、ルール、指導法及び様々なスポーツ場面においても活躍できるリーダーとしての資質を身に付けます。 ・スポーツの特性・特徴について考察するとともに、スポーツの現状を心理学、経営管理、社会学、医学などの様々な面から考え理解する能力を身につけます。 ・自ら見本を示せる技術を身に付け、集団への運動指導力やそれぞれの運動の理論を習得し、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導できる能力を身に付けます。			スポーツ実技Ⅰ② 運動学②	スポーツ実技Ⅱ②				スポーツ実技Ⅲ②
			体力測定法②	トレーニング論② コーチング理論②	スポーツ指導法②			
	スポーツ原理②	スポーツ心理学②	スポーツ経営管理②			スポーツ医学②	リハビリテーション論③	スポーツ社会学②
						健康運動実践指導Ⅰ②	健康運動実践指導Ⅱ②	

※表中の数字は単位数を表し、□②は必修科目、□③は選択科目です。

1年		2年		3年		4年	
前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
			生活習慣病論②	健康管理論②			
	生理学②	解剖生理学②					
	免疫学②						
		衛生学②	公衆衛生学②				
			栄養学②				
			養護概論②			健康相談活動②	
		学校保健②	精神保健学④	小児保健②			
			救急処置法②				
		看護学概論②	看護技術論②	看護学実習Ⅰ②	看護学実習Ⅱ②	看護学実習Ⅲ(救急処置)②	
				心理学統計法②		心理学研究法②	心理学調査実習②
心理学概論2	教育心理学②				知覚・認知心理学②		
	発達心理学②				社会心理学②	社会・集団・家族心理学②	
	学習・言語心理学②				発達臨床心理学②		
					福祉心理学②	障害者・障害児心理学②	
	臨床心理学概論②		心理学的支援法②	心理的アセスメント②	心理アセスメント実習②		
				心理学基礎実験②			

■健康管理の理論と方法について理解する

学校運営上求められる学校保健推進のための基本的な知識の理解を深めるとともに、子どもの成長・発達に応じた健康管理を行う能力を身に付けます。

- ・子どもの成長・発達の特性や健康の保持・増進に関連する基本的な知識を習得し、子どもの健康問題について理解するとともに、児童・生徒の健康管理や安全に常に配慮する姿勢を身に付けます。
- ・養護教諭の果たすべき職務や役割についての基本的な知識を習得し、保健室の在り方や児童・生徒の健全な成長・発達を促進するための具体的な方法を理解するとともに、学校救急処置に必要な知識・技術・態度を身に付けます。

■心理と相談援助の理論と方法について理解する

教育現場での相談や援助のあり方について理解し、具体的な問題に対してそれぞれに適した対応をすることのできる知識と、カウンセリング・マインドで対応できる能力を身に付けます。

- ・心理学において必要な様々な研究方法について学び、基礎的な統計法や実証的研究方法の知識を身に付けます。
- ・心理学の実験・実習を通して、データ解析や心理検査等の基礎的な手法を実践的に身に付けます。
- ・知覚、記憶、言語、思考、認知、学習など、人間が生活を営む上で基礎となる心理学に関する知識を身に付けます。
- ・人が集団の中でどのように振舞うかというような、行動理解の基礎となる社会心理の知識を身に付けます。
- ・性格や人格特性などの個性や個人差の問題を学び、人格心理学の知識を身に付けます。
- ・心の問題を抱えた人を理解するための理論とその援助方法について、事例研究を通じて、心理臨床の実践的課題への基本姿勢を身に付けます。
- ・カウンセリング・マインドについての理解を深めるとともに、自己を振り返り、洞察を深め、他者理解へと関心を広げる姿勢を身に付けます。

※表中の数字は単位数を表し、2 は必修科目、② は選択科目です。